

# 生麦中だより

令和3年度(2021) 12月【8号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

## 師走の中で

～コミュニケーション～

校長 山口 毅

師走を迎えました。

保護者、地域の皆様には気忙しい日々をお過ごしかと思えます。本年も本校教育活動にご理解・ご支援を頂き、感謝申し上げます。

学校は感染症拡大防止対策を行いながら、学習や行事に取り組むことができました。そこには、生徒と職員の工夫や粘り強く取り組む姿勢がありました。同時に皆様の励ましが生麦中学校の推進力になっていると認識しています。本当にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校においては「学校の新しい生活様式」に基づき、生徒たちの健やかな学びを保証していくために、創意工夫した取組を進めています。

タブレット端末等を生かした学びもそのひとつです。今年は社会全体で、人と人が直接対面せず、オンラインでつながることが主流となりました。相手の声は聞こえるが、画面には相手ではなく資料や文字が映し出される。そんなコミュニケーションが見慣れた日常となりました。

そこで、私たちが人とコミュニケーションを図る際、どんな情報が大切なのか考えてみました。人とコミュニケーションを図るとき大切な情報として言語（言葉）・聴覚（聞くこと）・視覚（見ること）が影響しているという考え方があります。

それは「メラビアン法則」というもので、人と人がコミュニケーションを図る際、実は「言語情報 7%」「聴覚情報 38%」「視覚情報 55%」という割合で影響を与えていることを示した心理学上の法則です。

たとえば、「ありがとう」という言葉を、「怒りの表情」の写真や「不機嫌な口調」の録音と組み合わせ、何人かに聞かせます。このとき、本来の言葉の意味通り「ありがとう＝好意」を感じ取れば言葉そのものの影響力が強く、逆に「嫌悪」を感じれば視覚や聴覚から得た情報が優先されたこととなります。

このような実験を繰り返し、人が言語・聴覚・視覚から得られる情報のうち、どれがどの程度優先されるかを確認していったのです。その結果、コミュニケーションには「言語情報 7%」「聴覚情報 38%」「視覚情報 55%」の割合で影響しているという「メラビアン法則」が導き出されました。

怒りながら「ありがとう」と言ったり、不機嫌に「ありがとう」と言ったりしても「ありがとう」の真意は伝わりにくいのです。

実験からわかったことは、「非言語コミュニケーションがいかに重要か」という点です。コミュニケーションをとる際は話の内容が重要だと思いがちですが、実際には言語情報はわずか 7%しか優先されていないことがわかりました。もちろん、話の内容を正しく理解したり伝えたりするために、言葉そのものが持つ意味は重要です。

しかし、実際には聴覚と視覚から得る情報が 93%優先される結果となり、言葉よりも「イメージ」が影響する可能性が非常に高いことを示しています。

言葉と口調・表情などが一致していない場合、人は表情やパフォーマンスを優先して判断する傾向にあるということです。無意識のうちに、非言語コミュニケーションを重視しているともいえるでしょう。

話の内容に応じて声に抑揚をつけたりジェスチャーを取り入れたりして変化をつけると、相手の興味をひきつけ、自信や魅力を効果的にアピールすることも可能だと思います。

このように考えると、今年ほどコミュニケーションが意識された年はないかもしれません。

今年大活躍した大リーグ、エンジェルスの大谷翔平選手（27）は、コミュニケーションの達人と言えるかもしれません。

ご存知のように大谷選手は、今シーズン、最も活躍した選手に贈られる MVP＝最優秀選手に選ばれました。【ピッチャーとして 9 勝、156 奪三振、バッターとしてホームラン 46 本、26 盗塁のすさまじい記録を残し、現代野球では例のない投打の二刀流を 1 年間やり遂げました。】

一番近くで大谷選手を見ていたジョー・マッドン監督（67）は、大谷選手とのコミュニケーションを通して、誠実さ、謙虚さを常に感じていたと言っています。

2018 年に右ひじのじん帯を修復する「トミー・ジョン手術」、翌年には左ひざの手術を経験し、去年は開幕直後に右腕を痛めてピッチャーを断念した大谷選手を大胆に起用したマッドン監督は、「笑顔」という表情から多くの決断に至ったと述べています。

コミュニケーションは人間力そのものかもしれません。

良いお年をお迎えください。

## 全国人権作文コンテスト

11月23日に第40回全国中学校人権作文コンテスト横浜大会表彰式が横浜市役所にて行われました。

2年佐伯 凛さんが優秀賞を受賞しました。

佐伯さんの人権作文タイトル「「知らないこと。」ということ」は、「知らなかった」と「知ろうとしなかった」は大きく違うと自分に問いかけ、日常にある無関心に焦点をあてながら、身近な人たちとの体験や経験の中から気づきを見出す様子を作文にしています。

無意識に心の目を閉じない自分でありたい、知ること・自分の出来ることを探せる自分でありたいと結んでいます。受賞おめでとうございます。



## 令和3年度 体育活動優秀生徒

本年度、横浜市中学校体育活動優秀生徒について、本校から3年小川夢奈さん・3年佐藤湊さんが表彰されました。

体育活動優秀生徒とは、3年間、部活動や保健体育科授業等体育活動において顕著な活動実践を行った生徒です。

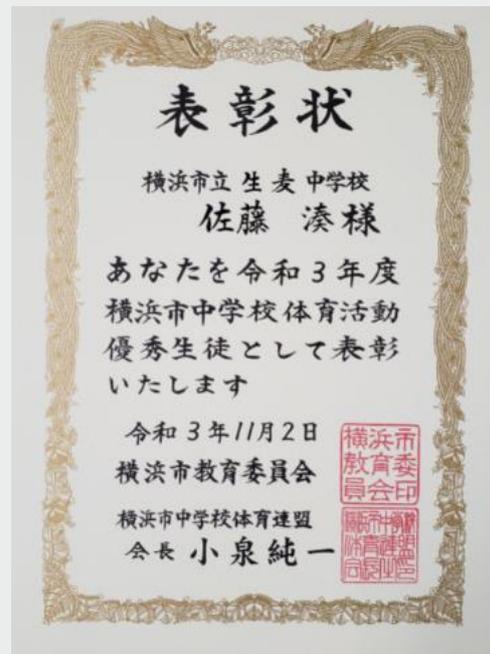
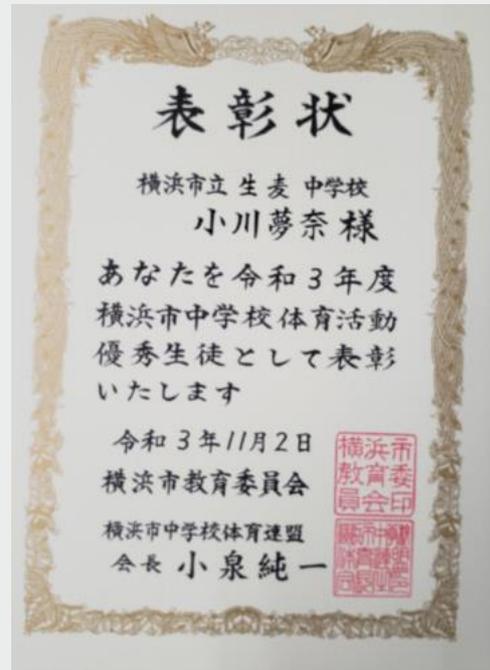
小川さん、佐藤さんには、賞状とメダルが授与されました。



本来であれば、横浜市中学校総合体育大会閉会式での表彰となりますが、本年度感染症拡大防止措置により閉会式が中止となりました。

体育活動は、行うこと、見たり観戦したりすること、支えること、知ることなど自分自身で創意工夫をして実践することができます。

皆さんの実践を期待します。



### ●昼食 パン販売についてのお知らせ

昼食パン販売について、業者都合により年明け令和4年1月より、月曜日のパン販売がなくなります。

火曜日から金曜日までは、現在と同じように注文・販売はあります。

保護者の皆さまには、ご不便をお掛けしますがご理解のほどよろしく願いいたします。

## 生麦トイカプセルについて

生麦トイカプセルは、全国で流行している「地域密着ガチャ」の生麦版です。地元有志団体・生麦盛り上げ隊が準備を進めてきたものです。

10月から京急生麦駅改札横に設置され、発売されています。地域密着のご当地トイカプセルを通して、地域の活性化を目指すことが目的です。

11月後半からアクリル製の「生麦中学校」キーホルダーも加わりました。1個 300円。

他にも、「蛇も蚊もちゃん」、京急全面協力のキャラクター「けいきゅん」、「生麦駅前通り商友会」など7種類以上のキーホルダーが作成されています。

生麦駅改札横に設置されています。



## 1 学年 職業講話

総合学習で「仕事をする」ことや「興味のある職業」について学習し、実際にその職業（専門家）の皆様にご話を聞き、自身の将来を考えるきっかけにすることを目的に11月26日職業講話を実施しました。



当日は、オンラインで各事業所をつなぎ、対面の話では味わうことができない実際の大型機器やシステム等も画面で見ることができました。

「仕事を通して、多くの人と出会うことになります。そこでは英会話も必要になることもあります。同じ仕事でも、経営者と専門職は違うので、常に勉強・学習は大切なことだと思います。」講師の皆さんの言葉には説得力がありました。

建設業「栄港建設」様、美容業「TRIPLE-ef」様、製造業「昭和精工」様、食品業「ハーベストネクスト」様本当にありがとうございました。



全国学力・学習状況調査・結果概要及び分析結果につきましては、本校ホームページに掲載しております。ホームページをご覧ください。<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

本校の結果から、学校は様々な教科で相手に分かりやすく説明する等の言語活動を積極的に取り入れることや学習する意義や目的を明確にするよう日々の授業で工夫、改善の視点を取り入れてまいります。

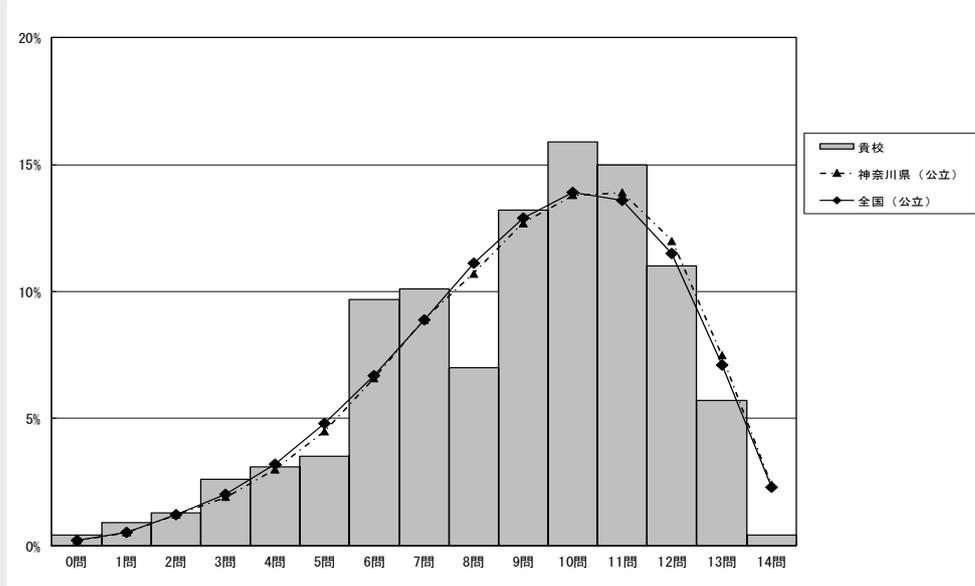
令和3年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [国語]  
横浜市立生麦中学校一生徒

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。  
※ただし、5月27日に調査を実施していない学校については、5月28日以降6月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
横浜市立生麦中学校	227	8.8 / 14	63	9.0	2.8
神奈川県 (公立)	58,956	9.1 / 14	65	9.0	2.8
全国 (公立)	903,157	9.0 / 14	64.6	9.0	2.8

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合 (%)		
	貴校	貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
14問	1	0.4	2.4	2.3
13問	13	5.7	7.5	7.1
12問	25	11.0	12.0	11.5
11問	34	15.0	13.9	13.6
10問	36	15.9	13.8	13.9
9問	30	13.2	12.7	12.9
8問	16	7.0	10.7	11.1
7問	23	10.1	8.9	8.9
6問	22	9.7	6.6	6.7
5問	8	3.5	4.5	4.8
4問	7	3.1	3.0	3.2
3問	6	2.6	1.9	2.0
2問	3	1.3	1.2	1.2
1問	2	0.9	0.5	0.5
0問	1	0.4	0.2	0.2

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

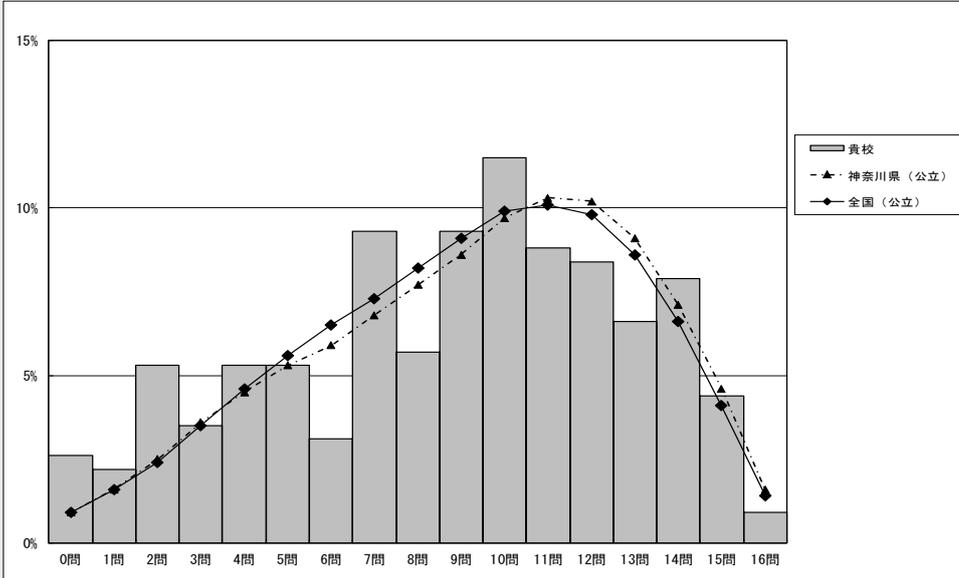
令和3年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [数学]  
横浜市立生麦中学校一生徒

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。  
※ただし、5月27日に調査を実施していない学校については、5月28日以降6月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
横浜市立生麦中学校	227	8.7 / 16	55	9.0	4.1
神奈川県 (公立)	58,985	9.3 / 16	58	10.0	3.8
全国 (公立)	903,253	9.1 / 16	57.2	10.0	3.7

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合 (%)		
	貴校	貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
16問	2	0.9	1.6	1.4
15問	10	4.4	4.6	4.1
14問	18	7.9	7.1	6.6
13問	15	6.6	9.1	8.6
12問	19	8.4	10.2	9.8
11問	20	8.8	10.3	10.1
10問	26	11.5	9.7	9.9
9問	21	9.3	8.6	9.1
8問	13	5.7	7.7	8.2
7問	21	9.3	6.8	7.3
6問	7	3.1	5.9	6.5
5問	12	5.3	5.3	5.6
4問	12	5.3	4.5	4.6
3問	8	3.5	3.6	3.5
2問	12	5.3	2.5	2.4
1問	5	2.2	1.6	1.6
0問	6	2.6	0.9	0.9

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問	6.0問